

9.2 次で定義される数列 (a_n) を考える：

$$a_n = \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n.$$

数列 (a_n) が単調増加で、かつ任意の $n \in \mathbb{N}$ に対し $a_n < 3$ であることを証明せよ。

[証明] まず数列 (a_n) が単調増加であることを示す (実際には以下のように、狭義単調増加であることがわかる)。 a_n の定義式の右辺を二項定理により展開すると次が得られる (二項係数を $\binom{n}{k}$ と書く)：

$$\begin{aligned} a_n &= \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \left(\frac{1}{n}\right)^k = 1 + \sum_{k=1}^n \frac{n \cdot (n-1) \cdot (n-2) \cdots (n-k+1)}{k!} \cdot \frac{1}{n^k} \\ &= 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \cdot \frac{n}{n} \cdot \frac{n-1}{n} \cdot \frac{n-2}{n} \cdots \frac{n-k+1}{n} \\ &= 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \cdot 1 \cdot \left(1 - \frac{1}{n}\right) \cdot \left(1 - \frac{2}{n}\right) \cdots \left(1 - \frac{k-1}{n}\right) \\ &= 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \prod_{l=0}^{k-1} \left(1 - \frac{l}{n}\right). \end{aligned} \tag{*}$$

また、 n を $n+1$ で置き換えて

$$a_{n+1} = 1 + \sum_{k=1}^{n+1} \frac{1}{k!} \prod_{l=0}^{k-1} \left(1 - \frac{l}{n+1}\right).$$

したがって

$$a_{n+1} - a_n = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \left[\prod_{l=0}^{k-1} \left(1 - \frac{l}{n+1}\right) - \prod_{l=0}^{k-1} \left(1 - \frac{l}{n}\right) \right] + \frac{1}{(n+1)!} \prod_{l=0}^n \left(1 - \frac{l}{n+1}\right).$$

右辺各項はすべて正なので、 $a_{n+1} - a_n > 0$ 、つまり $a_n < a_{n+1}$ である。すなわち (a_n) は狭義単調増加であることがわかった。

次に任意の $n \in \mathbb{N}$ に対し $a_n < 3$ であることを示す。 $n=1$ のときは $a_1 = 2 < 3$ なので、以下では $n \geq 2$ とする。そのとき、再び (*) を用いて

$$a_n = 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \prod_{l=0}^{k-1} \left(1 - \frac{l}{n}\right) < 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} = 2 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{k!}.$$

$k \geq 2$ に対し $1/k! \leq 1/2^{k-1}$ であることを用いて

$$a_n < 2 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{2^{k-1}} = 2 + \left(1 - \frac{1}{2^{n-1}}\right) < 3$$

を得る。

コメント 問題文で注意したことをもう一度確認しておきます。この議論は新しい数 e を定義するためのものでした。「上に有界な単調増加数列は収束する」という定理 (実数の完備性の一表現) があるので、それを適用するために、前提となる 2 つの仮定の成立を確かめたわけです。

第一の目的はそれだったので、大雑把に $a_n < 3$ という評価を与えたのですが、上の議論に少し工夫を加えるだけで、もっと精密な上からの評価も得られます。たとえば

$$a_n < \sum_{k=0}^n \frac{1}{k!} = 1 + 1 + \frac{1}{2} + \sum_{k=3}^n \frac{1}{k!} < 2 + \frac{1}{2} + \sum_{k=3}^n \frac{1}{3! \cdot 4^{k-3}} < 2 + \frac{1}{2} + \frac{1}{6} \cdot \frac{1}{1-1/4} = 2 + \frac{13}{18} (= 2.722 \cdots)$$

など（計算途中では $n \geq 5$ としましたが, (a_n) は単調増加ですから, 結果的にはすべての n について正しい不等式です). 一方で下からの良い評価を得るのは大変ですけど, コンピュータで計算すると $a_{74} = 2.7001\dots$. これで e の小数第一位までの値が 2.7 であることがわかりました.

授業でも触れたとおり, 実は $e = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^n \frac{1}{k!}$ でもあります (これを $\sum_{k=0}^{\infty} \frac{1}{k!}$ とも書く). こちらのほうが収束がはるかに速い.

なお, もしかしたら初めてかもしれませんが, \prod は積を表す記号です (π の大文字 Π を大きくした記号, π は product の頭文字 p に対応します). 使い方は \sum と同様です (こちらは sum の頭文字 s に対応する σ (シグマ) の大文字 Σ を大きくしたわけです).